

1 報告事項

前回意見の対応状況

<事務局から説明>

【会長】

ベトナム語の本については代理店を通さないと購入はむずかしいと思うが、日本語学習のための本であれば、日本語ベトナム語併記で、日本の出版社から出ているので購入しやすいと思う。20～30冊は出版されている。もしベトナム語の本が入ったら、ベトナムの人が図書館に来た時にわかるようなサインがあるといい。ある図書館では外国語の資料の所に漢字で「洋書」というサインを出していた。これでは外国の人にはわからない。今はベトナム語に翻訳するのも容易にできるので、ベトナム語で「ベトナム語の本」というサインを出すとわかりやすい。また、代理店を通して購入することも検討していただければと思う。

2 事業実績について

(1) 蔵書・利用状況

(2) 事業実績(令和6年7月～令和7年1月)

(3) 市民からの要望など(令和6年7月～令和7年1月)

<指定管理者から説明>

【会長】

市民からの要望について、例年と比べて件数の増減や内容の変化はあるか。

【指定管理者】

件数については大きな変化はない。内容の変化に関しては、今回の分では「督促がちゃんとできているのか」「資料が古い」「民法の改正に伴い資料の購入はしているのか」「こういうDVDを入れてほしい」など資料に関するご意見が多かったという印象がある。

【会長】

理不尽な意見もあるようだが、利用者から意見が出るのはいいことだと思う。意見を受けてホームページの図書室一覧表に返却ポストの有無を付けるなど、改善されたところもある。対面で言われることが多いか。

【指定管理者】

一番多いのは対面。

【会長】

活字にするとそうでもないが、対面では言い方によっては心が折れる職員もいるのではないか。メンタルのケアはしているのか。

【指定管理者】

会社の衛生委員会で産業医を迎えることもあるので、相談する機会がある。スタッフへのフォローの声かけもするし、ミスについては改善する。いただいた意見は職員間で共有し、一人の問題ではなく全体の問題として捉えている。そのことで緩和されることもあると思う。

【委員】

市民からの声には賞賛の意見もたくさんあるはず。資料ではクレーム対応のようなイメージで書いてあるが、やったことに対する効果があったという賞賛の意見も書くことで、職員のモチベーションも上がるし、

手ごたえがあると思う。賞賛の意見も残していった方がいい。

【委員】

会議資料を見て、自分が本を返却する時に使った机が、利用者の意見を聞いて高さを変えた机だということがわかった。知らないうちにいい方向に変わっている。小さい意見でも耳を傾けて対応していることはいいことだと思う。

【委員】

利用者からの意見に、督促をちゃんとしてほしい、福岡はもっと厳しくしているというものがあつたが、本当にそうなのか、また督促を改善するためにどうしたらいいと考えているか。

【指定管理者】

福岡市の督促の方法は把握していないが、利用者に返却してくださいと連絡するしかないと思う。現在市立図書館では、メール・自動音声による電話で督促をしている。まれにメール・電話で連絡が取れない人もいるので、その場合はハガキを送っている。返していただけるまで何度もお願いしている。

【委員】

延滞の話がでたが、貸出は減っているのに延滞による貸出停止者数は増加している。何か理由はあるのか。また、今後増えそうなのか。

【指定管理者】

貸出停止者数は数字の積み上げになる。昨年度までの貸出停止者だった人に変化が無いまま、今年度新たに貸出停止になった人が加わり増加した。

【会長】

1年間に60～70人増加しているようだが。

【指定管理者】

総数で見ているので、今年度新たに停止になった人が何人かという情報として持っていない。新たに貸出停止者になる利用者もいるし、返却して貸出停止を解除される利用者もいる。解除後に借りた本を延滞し再び貸出停止になる利用者もいる。

3 令和7年度事業計画について

<指定管理者から説明>

【委員】

前年度と比べると、来年度計画の「施設の設置目的と計画」に「リピーターの獲得」という文言が増えている。何かの機能を変えたり活動を加えるなど、新たにすることがあれば教えてほしい。

【指定管理者】

具体的なことがあるわけではない。昨年度に比べると貸出や利用者数が少し減っている状況の中、新たな利用者の発掘は以前から言っているが、図書館に1回来て終りではなく、何度も利用していただくことが、貸出や利用者数の増加につながると考え、今回「リピーターの獲得」という言葉を加えた。

【委員】

リピーターを増やすことは大切。今回の議論の中から何かいいアイデアが出ればと思う。

【委員】

イベントに参加した時に本を借りるしくみがあれば、返しに来ないといけないので繰り返し来てもらえる。借りて返すという体験をして習慣化するきっかけになるのではないか。

【委員】

北公民館図書室の取組みを紹介すると、館長が「北公民館の冬じたく」というパンフレットを作り、これを使ってブックトークを開催した。北公民館で33年間読み語りの活動を行っている関係で、自分と、ひとやすみ書店の方でブックトークをした。条件が北公民館の図書室から冬の本3冊を選んで紹介するというものだった。小さな図書室なので紹介する本を選ぶのは大変だったが面白かった。図書室の本を紹介するので、参加者は紹介された本を図書室で借りて帰ることができた。学生から年配の人までたくさんの人が参加してくれた。こういう取組みであれば、大きい図書館でも、ふれあいセンターや公民館のような小さな図書室でもできて、活性化につながると思う。

【委員】

図書館に週に1回来て、帰りに書店に行く。書店にはおすすめ本がある。そこを見て興味を持った本を買ったり、図書館で借りたりしている。新刊が出た時にこの本がおすすめというのを出すのもいいかと思う。新刊のコーナーはあるが、よりプッシュすると変化があるのではないか。

【委員】

私は図書館にあまり来るほうでは無いので、イベントの報告を見てもこういうことがあったのかと改めて知る感じだった。LINEの活性化の話があったが、興味がないと図書館にLINEがあることすら知らないの、長崎市のLINEで配信したり、小中学校から保護者への配信を使うなど、もっと周りと協力して宣伝したらいいのではないか。

【事務局】

市の広報紙でイベント情報や、月1冊ではあるがおすすめ本の紹介を掲載している。市の公式LINEでも図書館から依頼があったものは発信し、市の公式LINEに登録している方に情報が届く形になっている。

【指定管理者】

ご指摘のとおり、図書館でLINEをしているということを知っていただかないと登録につながらないので、外に出る機会に周知している。例えば「はじめまして絵本事業」といって赤ちゃんに絵本を配る事業をしているが、4か月健診に行った時に、おはなし会の情報やSNSの情報を掲載したチラシを配布している。今後も外に出る機会に積極的に周知するようにしていきたいと思っている。

【会長】

何があったら図書館に行ってみたいと思うか。どういうきっかけがあったら、来るようになるのか。

【委員】

子どもを見ていると動画を見る機会が増えている。図書館に行こうと声をかけてもついて来ない。学校図書館では借りて来るので、本は読んでいる。わざわざ図書館に行くということについては腰が重くなるようだ。どうしたらいいかという答えは見つからない。家族で一緒に来ることができると楽しめると思う。

【委員】

図書館の立地を考えるとむずかしいかもしれないが、家族で遊びに行く場所になるといい。休みの日に一日ゆっくり遊んでその中で図書館の本に触れることができるといい。図書館の外を使うことも一つの手ではないか。おはなし会も敢えて屋外でやると、前の道路を通り過ぎる時に何か楽しいことをやっているな、というアピールになる。

【委員】

大型書店に行くとかわくわくする。新しいものに出会える感じがする。図書館に来る時は目的があって探しにくる。書店に寄せていくとすれば、書店のフロントにあるような感じの、おすすめ本や感想を書いた本がランダムに並んでいるコーナーがあると、面白さが出てくるのではないかと思う。

【委員】

私が勤めている中学校では、年に1回体育館でビブリオバトルを行っている。ビブリオバトルの後は、学校図書館の利用が非常に増える。発表している子たちの様子を見て、自分ももっと読みたい、自分もこの場で発表したいという意欲に駆られているのだろうと思う。本を読む方は一人で読んで楽しむ方もいれば、読んだ本の良さを人に語りたい方もいるんだなと、生徒を見ていて思う。中学生がビブリオバトルを披露する機会は少ないが、大人の方も同じような方がいるとすれば、図書館には会議室などもあるので、そういうこともできるのではないかなと思う。

【委員】

ホームページのリニューアルと公式LINEの開設をしたということだが、私はスタジアムシティのアプリをよく見る。施設情報の中を触ると、「今日の一枚」というコーナーが出てきて、こういう所がありますよ探してみませんか、という写真が出るのでわくわくして見ている。そういう発見をしに図書館に来るというものではないか。こういう花が咲きましたよという写真を載せると、植物図鑑を親子で調べることにつながったり、新しい本のコーナーの写真を載せると散歩がてら行ってみようとなったり、遊び感覚で行ける所になるのではないかなと思う。

【指定管理者】

Instagramでは桜の開花や落ち葉の写真を載せたりしている。Instagramを使う方ばかりではないので、違った方法でできないか考えてみたい。

【会長】

図書館に行ったことが無い人はたくさんいると思う。行くきっかけがあったら行ってみようと思う。PTAや自治会で図書館に行くツアーがあると面白いと思う。スタジアムシティができたので、選手のおすすめの本を紹介してもらってもいい。いろいろなチームが図書館と協力して選手のおすすめ本紹介をしている。長崎市との関係があるので可能かどうか分からないが。

【事務局】

スタジアムシティを運営するリージョナルクリエーションと長崎市教育委員会は、教育について包括連携協定を結んでいる。具体的なことは決まっていないが、V・ファーレンやヴェルカの選手のおすすめ本について打診してみたい。相手がある話なので実現できるかどうかは分からないが。

【会長】

県立図書館はV・ファーレンの外国人の選手に読み聞かせをしてもらいたいという提案を図書館からしていたが、担当者の異動などの事情で実現できなかった。ぜひ実現してほしい。

【指定管理者】

図書館だけではできることに限りがある。外部機関との連携によってできることが増える。一例として、グラバー園が開園50周年の記念事業の一つとして、図書館で古写真展を行っている。シンポジウムも開催し多くの方に来ていただいた。写真展は今ちょうど開催中である。外部の力を借りることで、図書館を知ってもらう機会ができる。先ほど外を使ったらという意見があったが、それとは少し違うかもしれないが、窓の外側に向けて外から見えるように古写真のパネルを展示している箇所もある。外に向けて見える形というアイデアをいただいたので、今後の参考にしたい。

【委員】

先ほどの図書館の前で何かするというのは、読み聞かせボランティアがたくさんいるので実現可能ではないか。図書館に入ったことが無い親子が読み聞かせを見てから図書館に入って本を借りるようになるといい。暖かくなったらぜひ屋外のおはなし会を開催してほしい。

【委員】

屋外の利用について制限はあるのか。

【事務局】

外部の方に貸すのではなく、指定管理者がイベントを主催するのであれば制限はない。騒音などの配慮が必要だと思う。

【指定管理者】

前の消防署からの救急車の出動が多いのが心配。

【会長】

消防署との連携もあるようだが。

【指定管理者】

イベントポスターの掲示などはしている。消防署より長崎海上保安部との連携が多い。

【会長】

利用支援について、大学に車椅子の学生がいるが、図書館に障害者サービスがあるのを知らなかったという声を聞いた。図書館の障害者サービスは視覚障害者がメインなので、身体障害者へのサービスについては今後改善の余地があると思う。車椅子だと誰かにお願いしないと来館できないので、2週間で返却するのがむずかしいということだった。来館に介助が必要な利用者には返却期限について、別の配慮が必要だと思う。また、特別支援学校の生徒は図書館を使ったことがあるのだろうか。

【指定管理者】

障害者サービスの登録をすると貸出期間は4週間になる。特別支援学校の生徒は毎年見学に来ていて、その時に貸出券を作り借りる体験をさせていただいている。個別に返却されることもあるが、もう一度来館しておはなし会を聞くこともある。連れて来てもらわないといけないので、先生方が連れて来てくださっている。

【会長】

長崎市外に住んでいる方から近くの図書館のサービスを知らなかったと聞いたので、長崎市について聞いた。

【委員】

今放送されているNHKの大河ドラマは江戸時代が舞台で、江戸文化の本がたくさん出版されている。長崎には出島もあり江戸時代からの名所がたくさんある。名所に行った時にQRコードなどを読み取ると歴史の本を紹介するページに行くようにすると、子どもたちの社会科見学や調べ学習にもつながる。長崎には活版印刷や写真などの歴史もあり、大河ドラマの関係で本がたくさん出版されている今がチャンスだと思う。それを使って長崎の町おこしと絡めたらどうか。大学図書館では利用者と呼び込むためのイベントをしても、利用者は増えないという現実がある。読む人はたくさん読むが、参考書や試験対策の本などしか読まない人が多く、利用者増にはつながらないと大学の図書館職員が言っていた。出島やグラバー園に行ったら本を読みたくなったという風になるといいと思う。

【委員】

長崎学講座や被爆80周年写真展など、長崎の歴史文化を継承する企画が挙げられているのはいいと思う。また、図書館の役割として、図書館をベースにしてアーカイブスを残すような活動の予定はあるか。

【指定管理者】

現時点ではアーカイブスとして残す企画は無い。長崎についての資料の収集は続けているし関連する講座も開催している。長崎には市立図書館だけでなく、歴史文化博物館、県の郷土資料センター、出島、長崎学研究所などもあり、記録・保管の役割は分担している部分があるので、関係機関と相談しながらになると

思う。

【委員】

友人が古い資料を読み解いて残す活動をしている。90歳近い高齢者なので残すのも大変だと話していた。何かを語りたい・残したいという要望を持つ高齢者と、デジタルとして残す手段を持っている若い人をつなげ、記録を残していく役割が図書館にはあると思う。戦争・原爆経験者は今後実社会から遠ざかっていく。その前に記録を残すことは長崎市民の役割でもあるし、図書館が世代間交流のハブになればいいと思う。

4 その他 主な施設整備

<事務局から説明>

【会長】

市立図書館も開館後15年以上経過して、いろいろ更新することが出ている。

【会長】

全体を通しての意見などないか。

【会長】

毎年学生を連れて市立図書館の見学に来る。バックヤードを見るといろいろな部分で努力されていること、いろいろな機器があることがわかる。委員も一度見学すると、図書館にお金がかかっていること、よく利用されているなということがわかる。今後検討されてはどうか。返却ポストに入れた本が地下を通過して事務室の所に流れて来るところや、4階の集密書庫の本が動いている様子は大人が見ても驚く。図書館に来たことが無い人にもバックヤードのことが伝わると思う。

【委員】

就任直後の前回の会議の時に見学し、すごいと思った。いいアピールになる。本を借りる時に自分が申し込んだ本が、書庫から窓口が届くところが中継で見えると図書館ってすごいなとわかると思う。書庫の様子が見える設備があるといい。

【委員】

SNSで動画配信するといい。

【会長】

書庫から本が届く様子をYouTubeで配信している図書館があるのでいいと思う。

【委員】

書庫の本を窓口で申し込んで5分ぐらいで届くと説明されたが、3分ぐらいで到着した。3分で届くと言っていい。

【指定管理者】

書庫の出納口が1階2階の2箇所あり、もう一つの出納口の混み具合がわからないため、余裕を持って5分と案内している。状況により取り出すのにかかる時間は変わる。

【委員】

早く届くことを褒めている。すごい施設だし、それを捌く人のオペレーションもいい。

【委員】

先ほど長崎の歴史文化を残すという話をしたが、ワークショップの機会もあるといいのではないかな。地域の歴史や課題、長崎市固有の課題がたくさんある。高齢化は全国的なものだが、若い人の人口流出の問題がある。長崎には面白いことが無いと思っている人に、そんなことはないと思わせる機会を作る。また、社

会から離れていく年齢になった時に、社会と繋がれるような場、何かを残せるような場を作ることももう少し積極的にやってもいいと思う。

【委員】

事業報告にあるバックヤードツアーの参加者11名は多いのか少ないのか。

【指定管理者】

定員10名で企画している。人数的には少なく見えるかもしれないが、家族で参加されることが多くとてもにぎやかなので、丁度いいくらいの人数。小学生中学生の見学の時は15名ぐらいのグループに分けて案内している。

【委員】

この人数が丁度いいということであれば、回数を増やしてはどうか。

【指定管理者】

来年度はもう少し多くできればと思う。

【会長】

他に意見がなければ、これをもって令和6年度第2回長崎市図書館運営協議会を終了する。